

令和５年度進行管理・評価シート
鹿島市 歴史的風致維持向上計画（平成３１年３月２６日認定）

□進捗評価シート(様式１)

①組織体制(様式１－１)	
１ 歴史的風致維持向上計画の実施体制	１
②重点区域における良好な景観を形成する施策(様式１－２)	
１ 都市計画との連携	２
２ 佐賀県美しい景観づくり条例	３
３ 佐賀県屋外広告物条例	４
③歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項(様式１－３)	
１ 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業	５
２ 市所有歴史的建造物維持管理事業	６
３ 空き町家活用促進事業	７
４ 歴史的建造物保存対策事業	８
５ 歴史的建造物保存対策調査事業	９
６ 伝承芸能の公開支援事業	１０
７ 祐徳稲荷神社と肥前浜宿の参拝継承事業	１１
８ 浜川流域の活動支援事業	１２
９ 民俗芸能の道具等の修理・新調支援事業	１３
１０ 民俗芸能団体の活動支援事業	１４
１１ 肥前浜宿街なみ環境整備事業	１５
１２ 祐徳門前地区街なみ環境整備事業	１６
１３ 祐徳稲荷神社参拝回遊促進事業	１７
１４ 景観形成推進事業	１８
１５ 文化財防災事業	１９
１６ 移住受入体制整備事業	２０
１７ 祐徳門前町と肥前浜宿をつなぐ散策者用誘導サイン設置事業	２１
１８ 歴史的風致の解説板設置事業	２２
１９ 肥前浜宿・祐徳門前町まちづくり交流促進事業	２３
２０ 歴史まちづくり普及事業	２４
２１ 歴史ガイドブック作成事業	２５
２２ 子ども向け歴史まちづくり普及事業	２６
④文化財の保存又は活用に関する事項(様式１－４)	
１ 文化財指定、保存管理・活用について	２７
２ 文化財の修理、周辺整備、防災事業について	２８
３ 文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体との連携について	２９
⑤効果・影響等に関する報道(様式１－５)	
１ 肥前浜宿 保存活用し産業活性化 観光庁長官賞に など	３０
⑥その他(効果等)(様式１－６)	
１ 観光の振興及び情報発信	３１

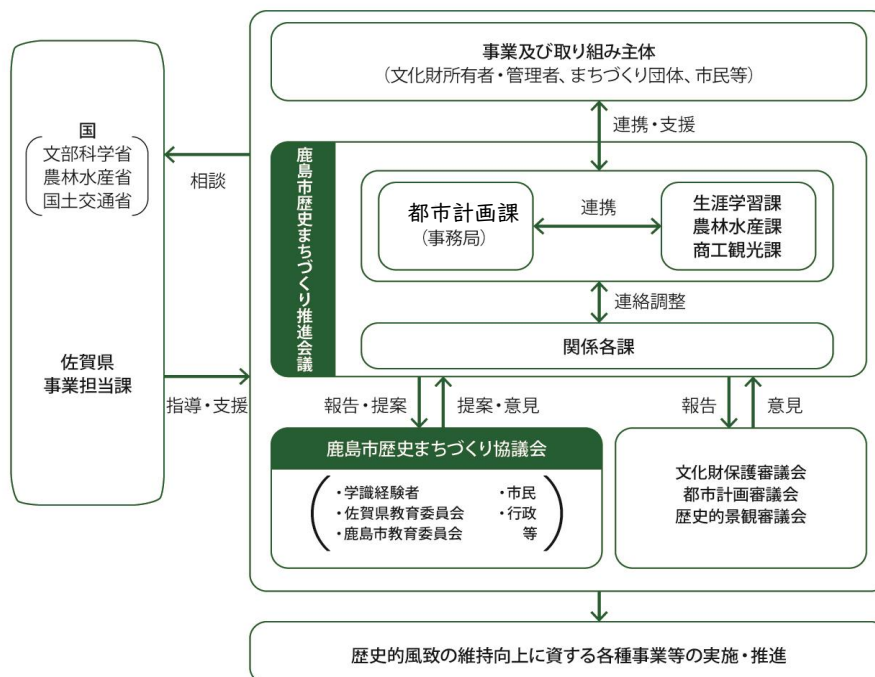
□法定協議会等におけるコメントシート(様式２)	３２
-------------------------	----

評価軸①-1
組織体制

令和5年度	
項目	現在の状況
歴史的風致維持向上計画の実施体制	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載している内容	実施体制は、策定時に関係各課から構成した庁内策定会議を基に「鹿島市歴史まちづくり推進会議」を組織し、関係組織間の積極的な連携を行い、情報共有を行っていくことで、歴史的風致の維持及び向上のための多分野にわたる施策を進行する。 事務局は都市計画課が務め、特に文化財を担当する生涯学習課と、産業を担当する農林水産課、商工観光課との緊密な連携を図る。 また、歴史的風致の維持向上に資する各種事業等の実施・推進にあたっては、国、県の関係機関への相談を行い、事業の推進に関わる指導や支援を受ける。 法定協議会としては「鹿島市歴史まちづくり協議会」を本計画策定後も継続し、定期的に協議会を開催し、事業の進捗状況の共有や協議を行う。 必要に応じて、関係する審議会や文化財所有者、管理者やまちづくり団体、市民などとも連携する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
計画策定時の体制を維持することにより、計画的に歴史まちづくり事業が推進された。 ●鹿島市歴史まちづくり推進会議 : 2回開催 ●鹿島市歴史まちづくり協議会 : 1回開催	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	

状況を示す写真や資料等

鹿島市歴史的風致維持向上計画 推進体制



評価軸②-1

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
都市計画との連携			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	本計画の重点区域のうち、祐徳稲荷神社より川下側の範囲は都市計画区域となっている。このため、この範囲においては、都市計画を前提とした施策を展開していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
都市の健全な発展と秩序ある整備を図るため都市計画審議会を開催した。(開催回数:1回) また、重点区域外ではあるが都市計画事業としてJR肥前鹿島駅周辺整備事業の進捗報告を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後は、令和元年度より継続している長期未着手道路の見直しやJR肥前鹿島駅周辺整備事業について引き続き取り組んでいく。	
状況を示す写真や資料等			



令和5年度 鹿島市都市計画審議会

評価軸②-2

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
佐賀県美しい景観づくり条例		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載している内容	佐賀県は、「佐賀県美しい景観づくり条例」を独自に定めており、同条例第7条において、「佐賀県美しい景観づくり基本計画」を位置付けている。同計画は、平成19年(2007)3月策定、平成25年(2013)改訂されている。同計画は、景観法に基づく景観計画ではない。 同計画は、県内全域を対象として、景観づくりの基本施策や推進スケジュールを示しており、この中で、景観づくりの事業のひとつとして、県民・CSO、事業者等の情報交換、交流会等の実施を掲げている。交流は県全体のみならず、共通テーマを持つ地域間ごとにも行うものとし、共通テーマの例のひとつに、長崎街道の宿場町として浜宿が示されている。 また、同条例第8条では、「佐賀県遺産」が位置付けられている。「佐賀県遺産」は、平成17年(2005)に創設されたもので、美しい景観を呈する地区又は地域を象徴する建造物で県民の貴重な資産であると認められるものを知事が認定するものである。認定したものには保存・活用に対しての支援を行っている。現在、市内には4件の佐賀県遺産が存在し、このうち2件が重点区域内に位置している。 今後、重点区域内においては、佐賀県美しい景観づくり基本計画を踏まえ、本市においても景観計画の策定を行い、良好な景観形成を図るとともに、佐賀県遺産制度を活かして、歴史的建造物の保存・活用を推進する。
-------------	---

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

景観計画策定に向け、令和2年1月22日告示にて景観行政団体へ移行している。
 佐賀県遺産については現在市内での認定件数は7件、重点区域内は「永溪山泰智寺」など3件が認定されている。
 本年度については新たな佐賀県遺産の認定はない。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	行政団体へ移行した事により今後は、景観計画の策定について検討を図っていく必要がある。 佐賀県遺産については、今後、県と連携を図りながらPRや事業推進を行う。

状況を示す写真や資料等

図 重点区域内の佐賀県遺産の位置

令和元年度 新規認定
「永溪山泰智寺」

泰智寺 山門修理完了状況

景観行政団体移行 告示文書

評価軸②-3

重点区域における良好な景観を形成する施策

項目	評価対象年度 令和5年度 現在の状況
佐賀県屋外広告物条例	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

計画に記載
している内容

佐賀県は「美しい景観づくり」に取り組むため「佐賀県屋外広告物条例」を平成22年(2010)4月に改正している。本計画の重点区域内は、祐徳院風致保安林や重要交差点とその周辺が禁止区域、肥前浜宿周辺が第2種許可区域、その他の区域が第1種許可区域に定められている。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

伝建地区内は鹿島市歴史的景観条例に基づき、屋外広告物の表示又は掲出にあたって許可申請が必要となる。今後も、佐賀県屋外広告物条例等に基づき、重点区域内の良好な景観形成を推進する。届出制度等により、良好な景観形成に寄与している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

今後の景観計画策定に伴い、伝建地区外についても屋外広告物について検討していく必要がある。

状況を示す写真や資料等

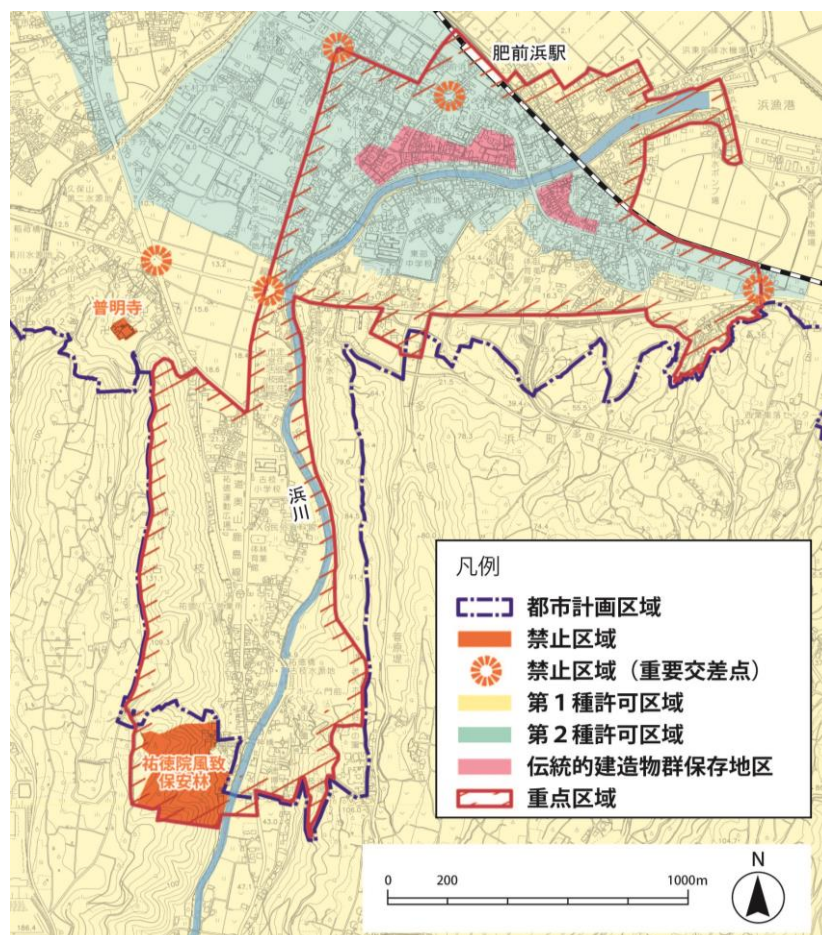
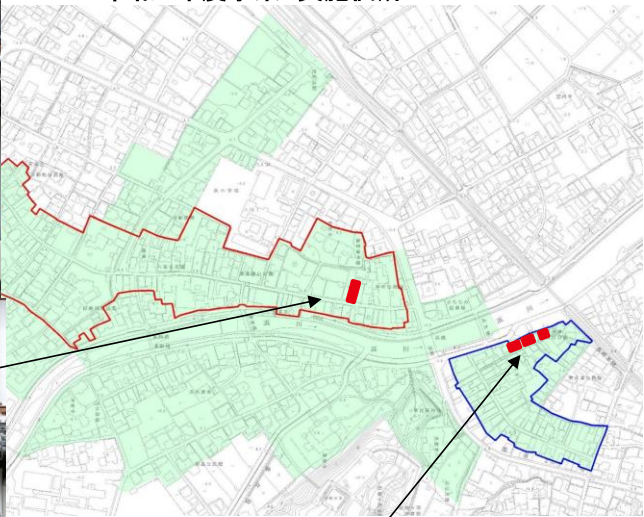


図 重点区域と屋外広告物許可区域

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
① 重要伝統的建造物群保存地区保存修理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	平成19年(2007)度～令和10年(2028)度		
支援事業名	重要伝統的建造物群保存地区保存修理費国庫補助		
計画に記載している内容	肥前浜宿の重要伝統的建造物群保存地区において、特定物件の保存修理と、その他の建築物等の修景による整備を進める。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要伝統的建造物群保存地区において、文化庁及び佐賀県文化課による技術指導のもと、伝統的建造物(特定物件)の適切な修理修景がなされ保存が促進された。 ・伝統的建造物保存修理: 4件			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		茅葺材料および職人の不足が、近年顕著となっている。茅葺職人は兼業が多く、茅葺一本で生計を立てることが難しいことも一因。通年の仕事と賃金確保ができれば解決の糸口となるが、需給バランスの調査がまず必要と思われる。	
状況を示す写真や資料等			
旧魚市場 工事前  工事中  旧中島家住宅 工事前 		令和5年度事業 実施箇所  完成 	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

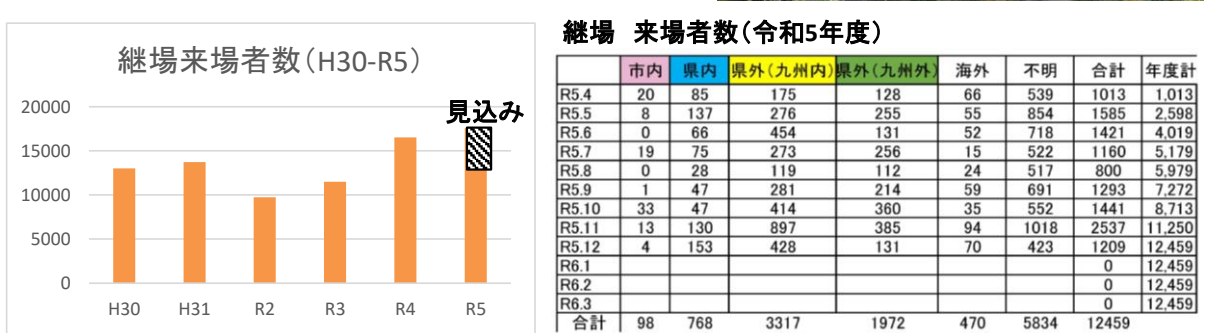
項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
② 市所有歴史的建造物維持管理事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間	平成30年(2018)度～令和10年(2028)度
支援事業名	市単独
計画に記載している内容	本事業では、肥前浜宿にある継場や旧乗田家住宅といった一般公開している市所有歴史的建造物の維持管理を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
市所有歴史的建造物について、地元NPO法人へ管理委託及び指定管理委託し、観光案内所運営や一般公開を行った。 利用者実績(R3):来訪者 約8,000人(12月末時点) 利用者実績(R4):来訪者 約12,500人(12月末時点) 利用者実績(R5):来訪者 約12,500人(12月末時点)	

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナ流行以前より来訪者は増加傾向にある。 旧乗田家住宅の茅葺屋根の経年劣化が進んでいるため修理の検討が必要である。

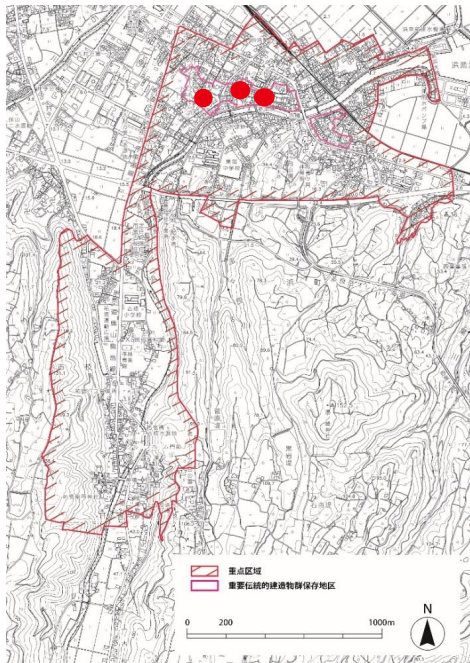
状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
③ 空き町家活用促進事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成27年(2015)度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業では、空き町家の活用を希望する市外からの転入者に対して、改修費や家賃の補助を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
本事業を活用した訳ではないが伝建地区内においてこれまでに別事業にて修理等を行った物件などでR5年より3件(飲食店等)活用された実績がある。 歴史的建造物の活用実績 : 3件(飲食店2、猫カフェ1)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		空家実態調査結果を空き町家活用推進事業に反映させ、今後も空き家バンク制度や街なみ環境整備事業と連携を図りながら事業を進めていく。	
状況を示す写真や資料等			



令和4年度 伝建事業にて修理を行った物件
飲食店として活用



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
④ 歴史的建造物保存対策事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間 平成31年(2019)度～令和10年(2028)度

支援事業名 佐賀県遺産保存事業補助金

計画に記載している内容 重要伝統的建造物群保存地区を除く重点区域全域において、歴史的風致形成建造物に指定された建造物の保存修理、及び佐賀県遺産に登録された建造物の保存修理を実施する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

歴史的風致形成建造物 令和元～4年度実績 : 0件
 令和5年度実績 : 0件
 佐賀県遺産修理 令和元～4年度実績 : 2件(うち重点区域外:1件)
 令和5年度実績 : 1件(うち重点区域外:1件)
 歴史的風致形成建造物の整備事業について周知を肥前浜宿まちづくり協議会で行った。

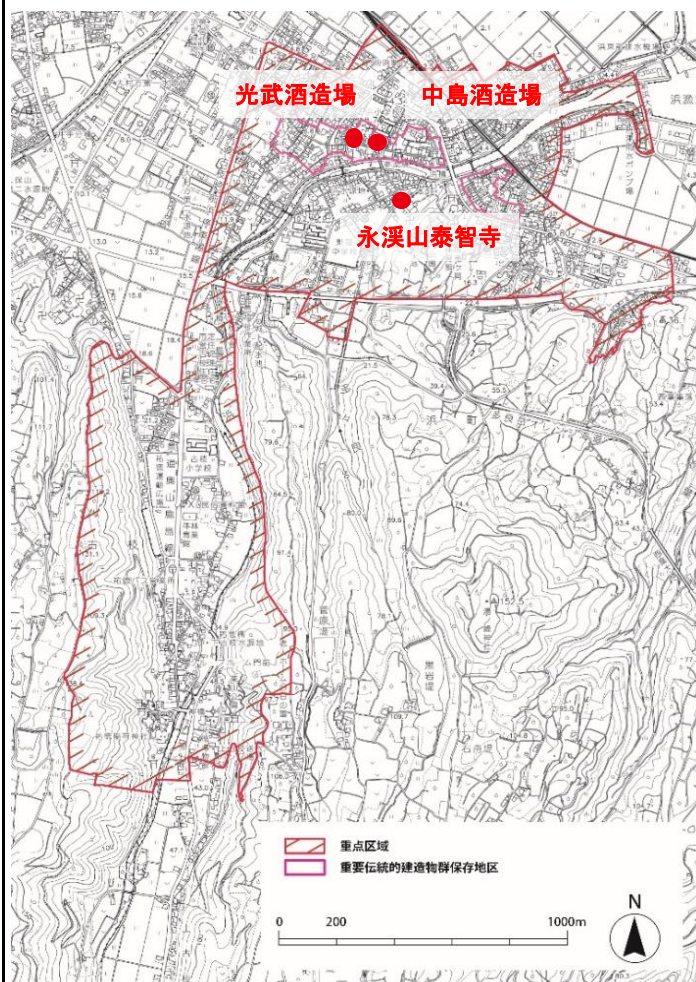
進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

歴史的風致形成建造物の指定及び佐賀県遺産への登録について、今後建物所有者との協議や登録に向けた調査などが必要となる。また歴史的風致形成建造物の登録の申請方法について明確な取り決めがないため、登録までの手続き方法の検討が必要。

状況を示す写真や資料等



重点区域内の佐賀県遺産



佐賀県遺産に認定された「永溪山泰智寺」

R5年度修理を行った
「鹿島城址にのこる松蔭神社 石垣」

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
⑤ 歴史的建造物保存対策調査事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年(2020)度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業では、歴史的風致形成建造物の候補や、指定文化財の候補、登録文化財の候補となる建造物の実測調査等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
未着手			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	文化財専門職員の確保と育成につとめる		
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
⑥ 伝承芸能の公開支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	平成9年(1997)度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業では、市全域に分布する浮立や獅子舞をはじめとした伝承芸能を披露する場として、祐徳稲荷神社境内において、「伝承芸能フェスティバル」を開催する。(※「伝承芸能フェスティバル」では、古くから伝わる民俗芸能だけでなく、太鼓や舞踊など最近の芸能の披露も行われるため、ここでは「伝承芸能」という言葉を使用している。)また、ここで披露される民俗芸能が元の形を保つよう、必要に応じ学識経験者の指導を受ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年9月10日に今年度新たにオープンした市民文化ホール「サクラ」にて「かしま伝承芸能フェスティバル」が行われ、市内外11団体が出演された。 また、令和5年6月4日に開催された「WithYou! 佐賀県文化芸術祭」に母ヶ浦面浮立が出演。また、11月19日に開催された第6回佐賀県伝承芸能祭では、鹿島市内の小学3年～4年生合計約250名が面浮立を披露し、県内外に伝承芸能の魅力を発信した。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	伝承芸能を披露する機会を幅広くとらえ、市内の芸能団体が積極的に出演する機会を提供、支援する。		
状況を示す写真や資料等			
			
第26回 かしま伝承芸能フェスティバルポスター		第6回佐賀県伝承芸能祭ポスター	
			
WithYou! 佐賀県文化芸術祭(母ヶ浦面の浮立)		第6回佐賀県伝承芸能祭(鹿島市小学生面浮立)	

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
⑦ 祐徳稲荷神社と肥前浜宿の参拝継承事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2年(2020)度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	肥前浜宿を経由した祐徳稲荷神社への参拝として、歴史的風致を形成する活動となっている鹿島酒蔵ツーリズム®の継承を促進する。このため、本事業では、鹿島酒蔵ツーリズム協議会に対し、肥前浜宿と祐徳稲荷門前町をつなぐ活動への支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
2024年3月に「鹿島酒蔵ツーリズム®イベント」を開催する。祐徳稲荷神社駐車場を来場者用無料駐車場として活用し、酒蔵が集中する肥前浜宿を結ぶシャトルバスも運行、歴史的風致を形成する門前町と浜宿を繋ぐ活動を行う。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		コロナの影響により途絶えていたイベント等も再開され、浜宿と門前町を繋ぐ活動への支援を促進していきたい。	
状況を示す写真や資料等			
 酒蔵ツーリズム®2023 【開会式】			
 酒蔵ツーリズム®2023 【肥前浜宿会場】			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
	現在の状況	
⑧ 浜川流域の活動支援事業	☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間 令和2(2020)年度～令和10年(2028)度

支援事業名 多面的機能支払交付金事業ほか

計画に記載している内容 本事業では、浜川流域の活動の継承につながる浜川や水路の清掃等といった地区での活動に対し、消耗品や経費を補助することで活動の継続を支援する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

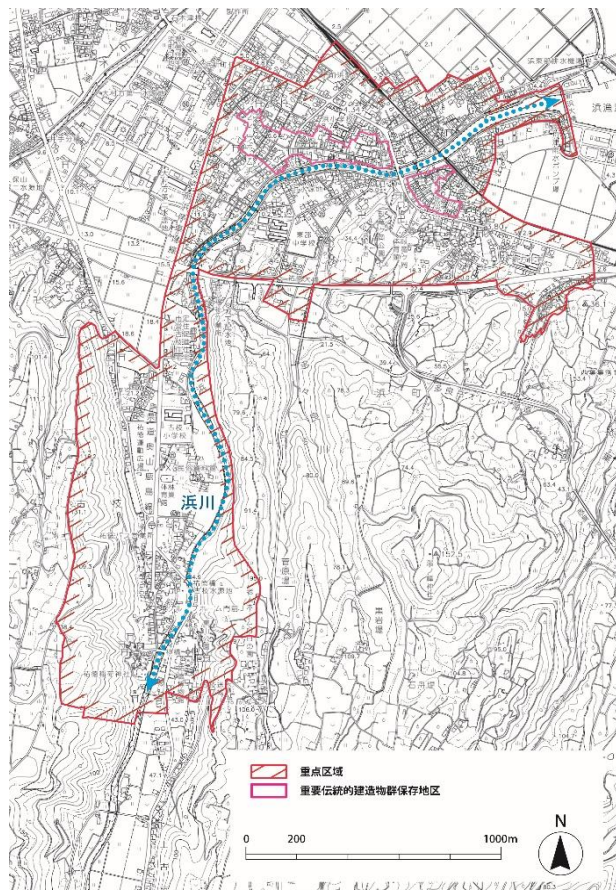
浜川流域の水路の清掃など維持管理に取り組む地元の活動に対し、交付金や重機使用料、原材料の支給などにより支援した。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

☒計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
⑨ 民俗芸能の道具等の修理・新調支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2(2020)年度～令和10年(2028)度		
支援事業名	地域文化財総合活用推進事業(文化庁)、一般コミュニティ助成事業(宝くじ)ほか		
計画に記載している内容	本事業では、市全域の各地区に受け継がれる浮立や獅子舞といった民俗芸能を将来にわたり継承するために、民俗芸能に用いられる衣装や道具の修理及び新調に対して、助言、指導を行い、衣装や道具に関しては、古くからの形態を保つよう、必要に応じて学識経験者等の指導、助言を受ける。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
民間の助成事業(明治安田クオリティオブライフ文化財団)を活用し、「母ヶ浦面浮立保存会」と「南川獅子保存会」へ衣装や用具の整備に関する補助を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	・補助事業に関する財源の確保、情報収集。		
状況を示す写真や資料等			
 助成金贈呈式 (南川獅子保存会・母ヶ浦面浮立保存会)			

評価軸③-1

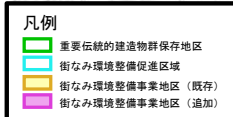
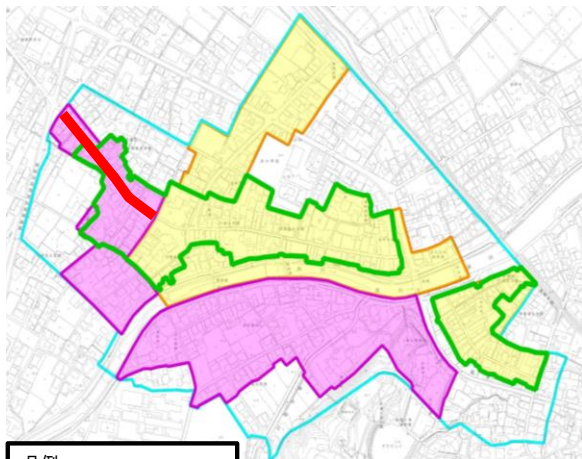
歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
⑩ 民俗芸能団体の活動支援事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和2(2020)年度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載 している内容	本事業では、市重要文化財である浅浦の面浮立の保存会に対し、活動費の補助を行い、支援や助言を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
浅浦面浮立保存会に対し、保存継承活動の補助を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない			
状況を示す写真や資料等			
浅浦の面浮立 			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

令和5年度	
項目	現在の状況
⑪ 肥前浜宿街なみ環境整備事業	☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
事業期間	平成15年(2003)度～令和10年(2028)度
支援事業名	市単独 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) (令和3(2021)年～令和7(2025)年)
計画に記載 している内容	本事業は、肥前浜宿の歴史的建造物を取り巻く周囲の環境をより良好なものにするために、道路美装化、案内 看板の設置、建築物の修景等を推進する。 また、肥前浜宿と祐徳稲荷門前とをつなぐ回遊の起点となる歴史的建造物である肥前浜駅の駅前広場を、周 辺の歴史的風致と調和するように整備する。
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で	
今年度はエリア拡大を行った大村方地区における主幹道路の道路美装化工事を実施し、町並みとの景観調和を図った。 R5年度工事件数：1件(道路美装化 約L=240m)	
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない	今後は事業地区が拡大された地区の道路美装化事業や浜川沿いのガードレール美装 化を推進する。
状況を示す写真や資料等	



大村方地区の道路美装化



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
⑫ 祐徳門前地区街なみ環境整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間 平成29(2017)年度～令和10年(2028)度

支援事業名 市単独
 社会資本整備総合交付金(街なみ環境整備事業) 平成29(2017)年～令和4(2022)年
 観光地域振興無電柱化推進事業 令和元(2019)年～令和2(2020)年

計画に記載している内容 本事業では、歴史的風致の範囲である祐徳門前町の参道あるいは地区全体としての個性と統一感のある町並み景観形成を図るため、建築物の修景に対する補助や参道的美装化、防犯灯の設置等を行う。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

祐徳門前地区街なみ環境整備事業計画に基づき、建物の修景事業1件を実施した。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	コロナの影響や令和2年7月豪雨による被災等のため、計画に遅れが生じているが、今後も協議会と連携を図りながら事業推進を行う。

状況を示す写真や資料等

区域図

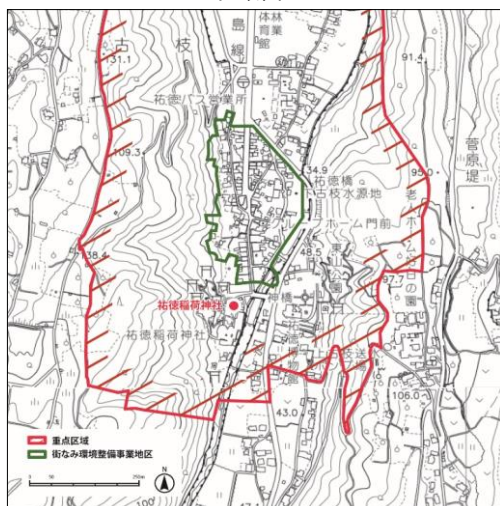


図 修景イメージ
 (『鹿島市祐徳稲荷門前地区街なみ環境整備事業計画書』より転載)



修景前



修景後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
⑬ 祐徳稲荷神社参拝回遊促進事業		☐ 実施済 ☐ 実施中 ☒ 未着手	
事業期間	令和6(2024)年度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業では、肥前浜宿と祐徳稲荷神社周辺をつなぐ浜川と、浜川から水を引いた水路の親水環境を整備し、流域の散策路整備やサイクリングロードとしての道路付帯施設や落下防止柵等の修景整備を行う。 また、誰もが利用しやすい交通アクセス機能の充実化を図るための効果的な仕組みを検討する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
未着手			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		令和6年度からの着手に向けて検討を行う。	
状況を示す写真や資料等			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

評価対象年度		令和5年度
項目		現在の状況
⑭ 景観形成推進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年(2019)度～令和10年(2028)度	
支援事業名	市単独	
計画に記載している内容	本事業では、本市の景観に関する規制を設け、歴史的風致と調和した良好な景観誘導を行うため、景観計画を策定する。この際は、夜間景観への配慮も行う。併せて、公共施設の景観ガイドラインの作成についても検討する。	
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で		
令和元年度に景観行政団体に移行(令和2年1月22日 告示 処理開始日 2月21日)したものの、景観計画の策定には至っていない。		
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない	今後は、景観計画策定に向け検討・協議を実施していく。	
状況を示す写真や資料等		
景観行政団体移行 告示文書		

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
⑮ 文化財防災事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和元年(2019)度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業では、伝統的建造物群保存地区内にある消火栓の定期点検や、市内の文化財建造物における消防訓練等の実施を行うものである。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
重要伝統的建造物群保存地区内の消防設備について、市職員による毎月点検及び専門業者に総合点検を実施した。旧乗田家の法定点検を実施した。 恒例の「文化財防火デー」に併せ、1月28日に文化財防火デー防火訓練を実施した。(場所:七浦鎮守神社)			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	引き続き防火意識の維持向上に努めることができるよう検討が必要がある。		
状況を示す写真や資料等			
伝建地区内防災設備点検状況 			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度 現在の状況
⑯ 移住受入体制整備事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和元年(2019)度～令和10年(2028)度

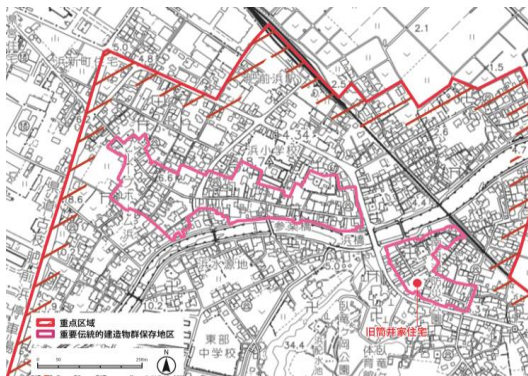
支援事業名 市単独

計画に記載している内容 本事業では、本市への移住促進のために移住体験施設として整備した、旧筒井家住宅の維持管理や利用者へのサポートを行うため、市民団体や民間事業者等との連携体制及び維持管理体制を整える。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

移住体験施設を利用された方の移住促進を図った。
 移住体験施設利用実績 6件(令和5年度実績1月時点)

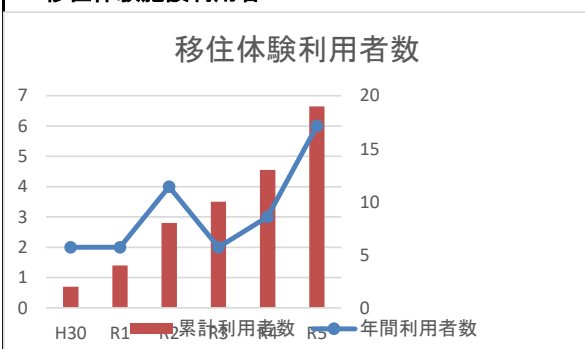
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	新型コロナウイルス感染拡大により、利用者が低迷していたが、現在は増加傾向である。 今後も本事業を活用して継続的に移住促進を促す。
状況を示す写真や資料等	



移住体験施設 外観



移住体験施設利用者



移住体験施設 内装



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目	評価対象年度	令和5年度
		現在の状況
⑪ 祐徳門前町と肥前浜宿をつなぐ散策者用誘導サイン設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手

事業期間 令和2年(2020)度～令和10年(2028)度

支援事業名 県補助金

計画に記載している内容 本事業では、肥前浜宿と祐徳稲荷門前をつなぐ浜川沿い等において、来訪者が散策等を行う際にアクセスが明瞭となるよう、歩行者向けに歴史的風致と調和した効果的なサインを設置する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和2～3年度にかけて県からの補助金を活用し、肥前浜宿と祐徳稲荷門前をつなぐ歩行者導線の整備(サイン及び舗装)を行った。

進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	整備したルート上の道路付属設備(ガードレール等)についても、歴史的風致との調和を図っていきたい。

状況を示す写真や資料等



評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
⑩ 歴史的風致の解説板設置事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和3年(2021)度～令和6年(2024)度		
支援事業名	市補助		
計画に記載している内容	本事業では、歴史的風致がみられる箇所において、来訪者が散策等を行う際に、周辺の歴史的風致の認知ができるよう、解説板を設置する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
令和5年度の更新実績はないがこれまでに老朽化や色あせた歴史的風致がみられる案内看板の更新を行っている。 看板更新実績 : 3件(R3～R4)			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		今後も必要に応じて歴史的風致の認知に繋がる看板・解説板の新設及び更新を行っていく。	
状況を示す写真や資料等			

「祐徳門前商店街」の案内看板



更新前



更新後

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

		評価対象年度	令和5年度
項目		現在の状況	
⑬ 肥前浜宿・祐徳門前町まちづくり交流促進事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	
事業期間	令和2年(2020)度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業では、肥前浜宿、祐徳門前町とその間の地域における一体的なまちづくりを促進するために、肥前浜宿と祐徳門前町及びその周辺の住民により組織するまちづくり会議(各まちづくり組織の代表者会)に対して、支援を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
肥前浜宿と祐徳門前町をつなぐ一体的なまちづくり組織は発足していないものの、両地区の街づくり組織の代表が委員として参加する歴史的景観審議会において歴史まちづくりに関する協議を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応	実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)		
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない	肥前浜宿と祐徳門前町をつなぐ一体的なまちづくりを促進するための取り組みや支援について今後検討する。		
状況を示す写真や資料等			



令和5年度 鹿島市歴史的景観審議会

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
⑳ 歴史まちづくり普及事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年(2019)度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業では、市内の歴史的風致について分かりやすく伝えるためのパンフレットや歴史的風致の散策マップ等を作成配布する。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
R4年度に肥前浜宿の街なみ環境整備事業地域のエリア拡大を行った。 これに伴い、肥前浜宿の伝統的建造物群保存地区及び街なみ環境整備事業地区内におけるルールや補助制度についてのパンフレットの刷新を行い町並みの保存、景観への配慮について周知を行っている。 鹿島市全体の観光資源をまとめたウォーキングマップを作成し、鹿島を散策してもらい歴史についても興味を持ってもらえるような取り組みを行っています。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		地元住民に肥前浜宿の重伝建地区のルールや補助制度について周知を行い、町並み保存に向けた意識の醸成を図っていく必要がある。 また観光客向けに鹿島のまちを散策してもらうためにまち歩きマップなどを通じて周遊してもらえるような取り組みを行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
住民向けパンフレット  ウォーキングマップ 			

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度
		現在の状況	
②1 歴史ガイドブック作成事業		☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手	

事業期間 令和元年(2019)度～令和10年(2028)度

支援事業名 市単独

計画に記載している内容 本事業では、市内の各地区の歴史や文化を分かりやすく伝えるためのガイドブックである「歴史さんぽシリーズ」の作成を継続して行っていく。また、これまでのシリーズと合わせた統合版を作成する。

定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で

令和5年9月10日に鹿島市民文化ホール内に併設する形で「ふるさと資料館」が開館した。ガイドブックの掲示コーナーも設けており、「歴史さんぽシリーズ」も好評につき残部が少なくなっているため、増刷を予定している。

進捗状況 ※計画年次との対応

実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)

■計画どおり進捗している
☐計画どおり進捗していない

不足分の増刷とあわせ、新たなテーマでのガイドブックを作成していく。

状況を示す写真や資料等



歴史さんぽシリーズパンフレット全地区分

評価軸③-1

歴史的風致維持向上施設の整備及び管理に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
②② 子ども向け歴史まちづくり普及事業			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
事業期間	令和元年(2019)度～令和10年(2028)度		
支援事業名	市単独		
計画に記載している内容	本事業では、子どもたちの文化財に対する関心や地域に対する愛着の醸成につなげるために、子ども向け副読本の作成等を行う。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
能古見小学校の3年生を対象に「のごみ お宝再発見プロジェクト2023」と題した講座を開催、校区内の文化財などを案内した。 また、「まちづくり出前講座」の一環で、市内小学3年生を対象に「面浮立」の講座、また鹿島高校生や看護学校の生徒を対象に、「社会・文化」の講座を開催した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画どおり進捗している ☒ 計画どおり進捗していない		学校や学年に限定せず、幅広いニーズに対応していく必要がある。	
状況を示す写真や資料等			
  能古見地区の史跡で実施した「のごみお宝再発見プロジェクト2023」			

評価軸④-1

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財指定、保存管理・活用について			☐実施済 ☒実施中 ☐未着手
計画に記載 している内容	市内には45件(現在)の指定文化財、27件の国の登録文化財がある。文化財については現状を把握し、適切な保存・活用を実施する。肥前浜宿の「継場」、「旧乗田家住宅」については、一般公開をおこなっており、草葺の空き町屋を整備した移住体験施設がある。一方、市内に指定を受けていないものの、鹿島市の歴史を物語る重要な文化遺産である文化財が数多く点在しており、その価値が知られないまま失われる危険性をはらんでいるため、市全体として守るべき文化財の状況把握に努めていく。		
	民俗芸能について市内には74件存在している。近年、「かしま伝承芸能フェスティバル」を毎年開催しており、継承、普及活動に繋げているが、後継者不足が顕著でありいくつかの芸能が休止を余儀なくされている現状がある。歴史や伝統を反映した活動について、指定、未指定を問わず、活動を継承する人々と連携し積極的に活動の継承を支えていくことを目指す。 埋蔵文化財包蔵地については、文化財保護法に基づき適切な保護、保存措置を講じていく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
文化財の新たな指定に向け、専門家の協力を得ながら、新たに佐賀県の登録文化財候補となる「のごみ人形」と「鹿島錦」の調査を行った。 活用について、一般公開している施設の利用状況は、新型コロナウイルス感染症の影響により少ない状況ではあるが、継場の来訪者は約12,500人(12月末時点)と回復傾向である。また、移住体験施設には、R5年度(R6.1時点)は6件利用されており保存活用がなされている。【P6及びP20参照】 市内に広がる民俗芸能について、9月にかしま伝承芸能フェスティバルの開催、11月開催の佐賀県伝承芸能祭に鹿島市からは鹿島市小学生が面浮立演舞に出演するなど、民俗芸能等が披露され継承普及がなされている 埋蔵文化財包蔵地については、開発等が実施される場合は、事前調査等を実施している。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒計画どおり進捗している ☐計画どおり進捗していない		肥前浜宿の「継場」、「旧乗田家住宅」の一般公開や移住体験施設の活用、伝承芸能フェスティバルのような活動を引き続き行い、伝統的な建物、芸能について継承普及を行い、文化財の適切な保護に、保存措置を講じていく。	
状況を示す写真や資料等			

第6回佐賀県伝承芸能祭(鹿島市小学生面浮立)



継場



移住体験施設



のごみ人形



評価軸④-2

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財の修理、周辺整備、防災事業について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の修理(整備)にあたっては、日常的に管理状況を点検し、損傷等により修理が必要な場合は、早期に適切な措置を行うことが必要である。また、文化財としての価値を損ねないように、史料や調査などに基づき修理する必要がある。 重点区域内には、伝建地区内の建造物をはじめとした、指定や登録を受けた歴史的建造物があり、さまざまな制度による保護がなされているが、祐徳門前町や、その周辺地区、伝建地区外には、指定や登録を受けていない歴史的建造物が手つかずのまま残されている。今後は肥前浜宿と祐徳門前町を核としたい広い範囲の多くの歴史的建造物の保護に努め、修理の推進に取り組む。 防災事業においては、伝建地区内では防災公園や消火栓の設置、散水設備の整備といった防災機能の強化に取り組んできたが、祐徳門前町や周辺地区では、防災機能を高めるための施設整備が十分ではない。今後は、肥前浜宿と祐徳門前町を核とした広範囲の一体的な防災期の向上を目指す。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
指定文化財について、管理状況等を確認しながら市所有の文化財については必要な補修等を行っている。 今年度は、佐賀県遺産である松蔭神社の石垣の修理を行った。 伝建地区内の伝統的建造物(特定物件)については、所有者の意向に沿いながら修理・修景補助を行っている。今年度については、保存修理4件を実施している。祐徳門前地区については、街なみ環境整備事業を利用し修景補助を行い門前町の修理修景1件実施している。【P5及びP16】 防災事業について、今年度は伝建地区内で設置している初期消火設備の総合点検を行った。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		伝建地区内の伝統的建造物や街なみ環境事業を活用した修理・修景を行い、歴史的建造物の保護に努め、更に防災事業を行うことで地域住民の防災意識の維持向上を推進していく。	
状況を示す写真や資料等			
伝建事業を利用した建物の修理状況 		伝建事業を利用した建物の修理状況 	
松蔭神社石垣修理 		街なみ環境整備事業を活用した修景事業 	

評価軸④-3

文化財の保存又は活用に関する事項

項目		評価対象年度	令和5年度 現在の状況
文化財に関する普及・啓発、防災訓練、団体との連携について			☐ 実施済 ☒ 実施中 ☐ 未着手
計画に記載している内容	文化財の保存及び活用の普及・啓発に関しては、文化財ガイドブック販売や地区ごとの歴史ガイドパンフ「〇〇の歴史を歩こう」シリーズの作成。また、地区ごとの歴史をテーマに企画展や講演会を開催している。文化財に関する案内板について順次設置してきたが、まだ十分といえない状況である。今後もガイドパンフ作成や講演会開催、案内板設置といった活動を継続し関係機関等と連携し多様な媒体を活用した情報発信強化に取り組む。 文化財の防災について、毎年文化財防火デー前後の日曜日に地元消防団及び消防署、市関係者と文化財等を利用し実戦に即した防火訓練を行っており関係者の資質向上を図っている。 文化財の保存・活用に関する団体として、肥前浜宿を中心とした市民団体等のほか、各地域の民俗芸能の保存会がある。伝統や文化を反映した人々の活動を継承する団体や歴史的風致の維持向上に資する活動を行う団体を応援していく。		
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
生涯学習センターと共催で企画展示「ふるさとの文化財展」を開催したほか、市内6地区分すべてが完成した「歴史さんぽシリーズ」を郷土学習や歴史講座などで活用している。 小学生向け歴史講座として「のごみお宝発見プロジェクト2023」と題した講座を開催し文化財の啓発を行った。伝建地区内において文化財に関する普及・啓発の一環として、令和2年度より地域の公民館で伝建地区の制度概要の説明を行っている。新型コロナウイルス感染拡大により開催できていなかったが、今年度より順次再開し説明会を行った。歴まち認定都市の普及・啓発として肥前浜宿の「継場」にて歴史まちづくりカードを配布している。 民俗芸能の保存についても道具等の補助を行い活動の継承に寄与した。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☒ 計画どおり進捗している ☐ 計画どおり進捗していない		地元住民に肥前浜宿の重伝建地区のルールや補助制度について周知を行い、町並み保存に向けた意識の醸成を図っていく必要がある。 また観光客向けに鹿島のまちを散策してもらうためにまち歩きマップなどを通じて周遊してもらえるような取り組みを行っていく。	
状況を示す写真や資料等			
能古見小学校で実施した「のごみお宝再発見プロジェクト2023」状況  歴史さんぽシリーズ(市内6地区分)  九州歴史まちづくりカード  醸しと実りのまち、鹿島 			

評価軸⑤-1

効果・影響等に関する報道

報道等タイトル		年月日	掲載紙等
「ふなんこぐい」文化庁100年フード認定		令和5年3月16日	読売新聞
観光列車の利用者が再訪 並行在来線希望と落胆		令和5年3月25日	西日本新聞
日本酒のまち・鹿島 待ちわびた酒蔵ツーリズム		令和5年3月26日	佐賀新聞
訪日外国人 観光スポット最高評価に祐徳稲荷神社		令和5年6月5日	日経経済新聞
祐徳稲荷神社 豊作祈り「お田植祭」		令和5年6月20日	佐賀新聞
大人も子どもも祭り満喫 肥前浜宿土曜夜市		令和5年8月25日	西日本新聞
風水害よけに浮立奉納 零平神社で1番通夜		令和5年9月13日	西日本新聞
新ホールに伝統の彩り かしま伝承芸能フェスティバル		令和5年9月16日	佐賀新聞
祐徳稲荷神社 ナイトウォーク「狐の嫁入り」始まる		令和5年9月29日	佐賀新聞
地酒と音楽に酔いしれ 肥前浜宿で「蔵々まつり」		令和5年10月20日	西日本新聞
往年の名車が祐徳稲荷神社参道に並ぶ なつかしCARIにばる		令和5年10月25日	読売新聞
肥前浜宿 保存活用し産業活性化 観光庁長官賞に		令和5年11月17日	佐賀新聞
定性的・定量的評価(自由記述) ※定量的評価は可能な範囲で			
市内の歴史的風致について多数報道等なされている。これらを通じて、鹿島市の歴史まちづくりに関する取組、について関心、認識が高まり、普及啓発がなされている。 古い町並みが残る「肥前浜宿」を保存活用し、特産の日本酒にスポットを当てた酒蔵ツーリズムなどの取り組みが高い評価を受け、「第16回産業観光まちづくり大賞」から、鹿島市観光協会が観光庁長官賞に輝いた。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針(自由記述)	
☐ 計画の進捗に影響あり ☒ 計画の進捗に影響なし			
状況を示す写真や資料等			

第16回産業観光まちづくり大賞 鹿島市観光協会 観光庁長官賞 受賞



項目		評価対象年度	令和5年度
観光振興及び情報発信			
計画に記載している内容	肥前浜宿と祐徳門前町をつなぐ取り組みとして、肥前浜宿の「肥前浜宿花と酒まつり」と、祐徳門前町の「祐徳門前春祭り」を、市内全体の酒蔵の同時蔵開きイベントである「鹿島酒蔵ツーリズム®」において、タイアップさせたイベント開催してきた。今後は肥前浜宿と祐徳門前町をつなぐ回遊性の向上と、重点区域内で一体で取り組まれる活動の継承を図る。		
定性的・定量的評価（自由記述） ※定量的評価は可能な範囲で。記事・議会議事録等を添付			
平成24年から「鹿島酒蔵ツーリズム®イベント」を開催し、来場者は開催当初の3万人から平成31年には9万9千人に増加した。関係団体が一体となって賑わいを創出、その取り組みが評価され、令和元年度には「ふるさとづくり大賞」、R5年度には「第16回産業観光まちづくり大賞」から観光庁長官賞を受賞した。 令和2年10月から観光列車「36ぶらす3」が肥前浜駅に定期停車するとともに、令和3年1月には「HAMABAR」がオープン、肥前浜駅周辺で賑わいが創出されている。さらに、令和4年9月からは観光列車「ふたつ星4047」が肥前浜駅に定期停車し、観光客向けのおもてなしが行われており、新たな賑わいが創出され地域の活性化が図られるとともに、まちづくり団体の活動も促進されている。 2023年3月に4年ぶりとなる「鹿島酒蔵ツーリズム®」イベントが開催され、2024年3月にも開催予定である。祐徳稲荷神社駐車場を来場者用無料駐車場として活用し、肥前浜宿を結ぶシャトルバスも運行、重点区域内の回遊性の向上と、取り組みの継続・強化を図っていく。			
進捗状況 ※計画年次との対応		実施・検討にあたっての課題と対応方針（自由記述）	
□計画の進捗に影響あり ■計画の進捗に影響なし		コロナの影響によりインバウンドは皆減し、交流人口も減少したが、徐々に回復の兆しも見えつつある。アフターコロナを見据え、関係団体とも連携した取り組みを継続する。	
状況を示す写真や資料等			

鹿島酒蔵ツーリズム®イベント来場者推移

暦	年	回数	来場者数
平成24年	2012	第1回鹿島酒蔵ツーリズム	30,000人
平成25年	2013	第2回鹿島酒蔵ツーリズム	50,000人
平成26年	2014	第3回鹿島酒蔵ツーリズム	40,000人
平成27年	2015	第4回鹿島酒蔵ツーリズム	70,000人
平成28年	2016	第5回鹿島酒蔵ツーリズム	75,000人
平成29年	2017	第6回鹿島酒蔵ツーリズム	80,000人
平成30年	2018	第7回鹿島酒蔵ツーリズム	88,000人
平成31年	2019	第8回鹿島酒蔵ツーリズム	99,000人
令和4年	2023	第12回鹿島酒蔵ツーリズム	80,000人



「なつかしCARにばる」in 祐徳門前春まつり



観光列車「ふたつ星4047」おもてなし【肥前浜駅】

法定協議会等におけるコメント

(様式2)

評価対象年度	令和5年度
・法定協議会等におけるコメント	
コメントが出された会議等の名称：鹿島市歴史まちづくり協議会	
会議等の開催日時： 令和6年2月21日	
(コメントの概要) 【個別事業について】 <景観計画の策定について> ・今後どのような予定としているか。 ・景観計画を策定すれば、文化的景観も申請可能になるし、鹿島にはその資源が豊富にある。 <歴史的建造物保存対策事業について> ・『「のごみ人形」と「鹿島錦」の調査を行った。』と記載があるが本事業で評価することが妥当であるか。 ・調査自体は素晴らしいものであるため評価する事業がないのであれば、新たな事業を追加することも検討していいのではないか。 <祐徳門前街環事業について> ・イメージ図ではアーケードが描かれているが、今年度修景したところは今後アーケードが繋がるイメージか。 ・デザインについては景観審議会等で決まるのか。 <⑬と⑰の事業について> ・⑬祐徳稲荷神社参拝回遊促進事業と⑰祐徳門前町と肥前浜宿をつなぐ散策者用誘導サイン設置事業は何が違うのか。 <新規事業について> ・1月に行われている「ふなんこぐい」は文化庁の100年フードにも認定されている。しかし、出店している業者は市外の方のみという報道を目にした。この先の100年も継承していけるように、事業を追加したほうが良いのでは。	
(今後の対応方針) <景観計画の策定について> ・事業の予定としては、令和7、8年度くらいを予定しているが、人員不足や財政面から策定が遅れている状況。 ・歴まち重点区域もそうだが、市域全体としての景観検討も課題であるので、策定に向けて検討の必要性はあると感じている。 <歴史的建造物保存対策事業について> ・⑤歴史的建造物保存対策事業の定量的評価に「のごみ人形」等の調査について記載はせずに、評価軸④-1に評価を記載するものとする。 <祐徳門前街環事業について> ・既存のパラペットが景観を損ねているので、まずはパラペットを外した状態で修景して、周囲の修景が進んだ後に、一体的なアーケードを整備したいと考えている。今年度修景したところまでアーケードは続かない。 ・景観審議会ではなく、街環事業計画書に基づいてデザインしている。 <⑬と⑰の事業について> ・⑬祐徳稲荷神社参拝回遊促進事業 浜川を中心とした散策路整備や道路付帯設備の修景整備を行う。 浜川を利用した回遊性の促進を行うものである。 ・⑰祐徳門前町と肥前浜宿をつなぐ散策者用誘導サイン設置事業 浜川流域に限らず肥前浜宿と祐徳門前町を繋ぐための誘導サインの設置を行う。 誘導サインを活用し回遊性の促進を行うものである。 <新規事業について> ・歴まち計画の中に「ふなんこぐい」についても記載しているが、取り組み事業としては挙げていない。 ・今後どうしていくかは、主催している地元の方々と交えて話をしていきたい。	